

御文庫講創立300年記念 講演会・懇親会

大阪書林 御文庫講
創立300年
記念講演会

大阪最古の図書館を支え続ける出版業者

御文庫講は江戸時代に組織された大阪の出版業者の組合で、住吉大社と大阪天満宮の御文庫(書籍を取る蔵)を運営管理しています。出版業者は御文庫に初摺り本を奉納し、商売繁盛を祈願してきました。奉納は今日まで継続され、10万点を超える蔵書には貴重な書籍も多く、大阪最古の図書館とも呼ばれています。毎年、本の出直しを行い、天神祭りの陸渡御・船渡御に参加するなど、伝統を受け継ぎながら活動を行っています。

【出演】

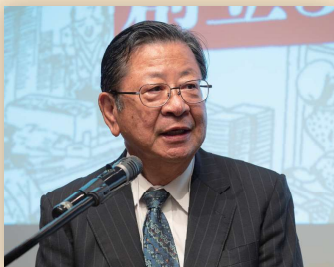
- 藤波 優 (大阪書林御文庫講演元)
- 桂 文我 (落語家)
- 高島 幸次 (大阪天満宮文化研究所長)
- 小出 英詞 (住吉大社権禰彦)
- 旭堂 南海 (講演者)

日時=2023年9月15日(金) 定員=850名
開演14:00~16:30(終了予定) 参加費=無料(自由席)
(開場13:30)

会場=大阪市中央公会堂大集会室

主催：大阪書林御文庫講
お問い合わせ先
創元社総務部 06-6231-9010
sgse@sogensha.com

令和5年(2023)9月15日(金)、御文庫講創立300年記念講演会が大阪市中央公会堂大集会室で開催され、御文庫講について旭堂南海(講談師)、小出英詞(住吉大社権禰彦)、高島幸次(大阪天満宮文化研究所長)、桂文我(落語家)、藤波優(御文庫講講演元)の各氏が語り合った。同日夕方には住吉大社神武磐彦宮司、大阪天満宮寺井種治宮司をお招きして懇親会が開かれた。



神武磐彦宮司



寺井種治宮司



桂文我氏



旭堂南海氏



小出英詞氏



高島幸次氏



藤波優氏